



青の煌めき^{きら}あおもり国スポ・障スポ

2026

翔ける未来へ縄文の風に乗って

第80回国民スポーツ大会 第25回全国障害者スポーツ大会

エアロビック競技会



(公社)日本エアロビック連盟
マスコットキャラクター「えありーな」



青の煌めき^{きら}あおもり国スポ・障スポ
公式マスコット「アップリート君」

期 日 2026年 8月 22日 (土)、23日 (日)

会 場 平川市ドリームアリーナ

主 催  公益財団法人 日本スポーツ協会

文部科学省・青森県

公益社団法人 日本エアロビック連盟・平川市

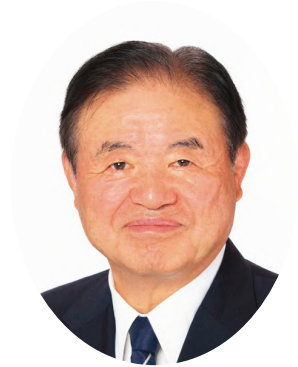


目 次

あいさつ	大会会長 遠藤 利明	2
	文部科学大臣 松本 洋平	3
	公益社団法人日本エアロビック連盟副会長 大岡 敏孝	4
歓迎のこたば	青森県知事 宮下 宗一郎	5
	平川市長 工藤 貴弘	6
	青森県エアロビック連盟会長 今 久一	7
	大会役員	8
	競技会役員/競技役員/競技係員/競技補助員	12
	その他協力機関、団体	13
	実施要項	14
	競技日程	18
	組み合わせ	19
	式典会場図	24
	表彰式次第	25
	競技の見方	27
	都道府県別参加人員	29
	参加監督・選手一覧	30
	成績採点方法	33
	会場図	35



あいさつ



公益財団法人日本スポーツ協会
会長 遠藤 利明

第80回国民スポーツ大会は、本年1月から2月に行われた冬季大会と併せ、「完全国スポ」として開催いたします。

第71回岩手大会以来、10年ぶりとなる「完全国スポ」を締めくくる本大会が、縄文の時代から育まれてきた歴史と文化を有し、豊かな風土に恵まれた本州最北の地、ここ青森県において、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

本年は、第25回オリンピック冬季競技大会（ミラノ・コルティナ）や第20回アジア競技大会（愛知・名古屋）などの大規模な国際総合競技大会が開催され、多くのアスリートが華々しい活躍を見せています。

また、初の北中米共催となった、サッカーFIFAワールドカップ2026も大きな盛り上がりを見せ、日本中がスポーツの熱狂と感動に包まれる1年となっています。

本大会がこの熱狂と感動をさらに高め、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」というスローガンの通り、出場するアスリートの皆様にとって、世界へ羽ばたく契機となることを切に願っています。

さて、日本スポーツ協会では、「有識者会議」からの提言に基づき、令和7年7月、改革を具体的に進める組織として、「国スポ改革タスクフォース」を設置しました。

今後、現状と課題を分析し、国民スポーツ大会が競技性・祝祭性・社会性・文化性を掛け合わせた、「トップアスリートと地域スポーツの好循環 ～人と地域の未来を創る～」という理念を具現化できる大会となるよう、検討を進めることとしております。

結びに、昨年12月に発生した青森県東方沖地震などにより、県内各地で甚大な被害が生じる中、本大会の開催にあたり諸準備にご尽力いただきました、青森県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あいさつ



文 部 科 学 大 臣
松 本 洋 平

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ青森県において昭和100年記念第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

青森県は、世界自然遺産の「白神山地」、四季折々の表情を見せる「八甲田山」や「岩木山」など豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」や重要無形民俗文化財である「青森のねぶた」など、自然と文化が息づく県です。

昭和52年のあすなろ国体以来49年ぶりの青森県での開催となり、「翔ける未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

本大会は、史上初となる総合開会式・閉会式の屋内開催に加え、大会公式アプリによる競技情報や結果速報の提供、デジタルチケットの活用などデジタル技術の活用により、選手と観客双方に配慮した大会運営となっています。「青の煌めきあおもり国スポ」が、国民に夢と感動を与え、青森県の魅力発信と活性化につながる大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や青森県民の皆さんとの交流を通じて、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は、愛知・名古屋において、第20回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう、関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「青の煌めきあおもり国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元青森県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。



あいさつ

競技会会長
公益社団法人日本エアロビック連盟
副会長
衆議院議員 大岡 敏孝

このたびは、「青の煌きらめきあおもり国スポ・障スポ2026 エアロビック競技会」にご参加いただき、誠にありがとうございます。

昨年の大会は、私の出身地であり、日頃から活動の拠点としている滋賀県での開催となり、日本エアロビック連盟、滋賀県エアロビック連盟、そして開催地である守山市と力を合わせて準備を進め、おかげさまで全国から多くの皆さんにご参加いただき、大変嬉しく思っております。

さて、国スポ公開競技として3回目の開催となる今年は、本州最北端の県である青森県平川市での開催となりました。

今年も日本エアロビック連盟、青森県エアロビック連盟、そして開催地である平川市の皆さんが協力して全国の皆さんをお迎えする準備を進めてまいりました。

選手の皆さんには、ぜひこれまでの練習の成果を存分に発揮していただくとともに、全国のAerobic Lovers、そして平川市の皆さんとの交流も楽しんでもいただきたいと思います。

また、青森県にはたくさんの観光スポットやおいしいグルメがありますので、大会の合間や前後にぜひ青森県の魅力を満喫してください。

最後になりますが、本大会の開催にご尽力くださった青森県、平川市、そして関係者の皆さまに心より感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



あいさつ



青森県知事 みや した そう いち ろう
宮 下 宗 一 郎

昭和100年記念青の煌^{きら}めきあおもり国スポ「第80回国民スポーツ大会」が昭和元年（1926年）から起算して満100年の節目となる年に、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、青森県において開催されますことをお喜び申し上げます。そして、全国各地からお越しくださいました選手及び関係者の皆様を、県民を代表して心から歓迎いたします。

「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」は、冬季大会と本大会を同じ県で開催した史上初の完全国体である「あすなろ国体」以来49年ぶりとなる青森県での開催であり、国民体育大会から国民スポーツ大会に大会名称が変更されてから、初の“完全国スポ”となります。

「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」のスローガンのもと、美しく豊かな自然の恵みを受けながら、一万年以上にわたり縄文文化が営まれていたこの青森の地で生まれる新たな歴史と感動、そしてこれを希望ある未来へつなげていきます。

“スポーツで青森県が一つ”に、“私たち県民の心がスポーツで一つ”になる、「青森新時代」の大会を目指し、県民総参加で青森県を青の煌（きら）めき一色に染め上げ、スポーツの祭典を盛り上げたいと考えています。

選手の皆様には、日々の練習で培ったパフォーマンスを存分に発揮されますとともに、感動と温かい交流にあふれ、皆様の心に残る最高の大会となることを願っています。

また、この機会に、十和田湖・奥入瀬溪流や世界自然遺産「白神山地」に代表される美しく雄大な自然、「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界文化遺産に登録された三内丸山遺跡をはじめ、数々の名所・旧跡が織りなす悠久の歴史・文化、新鮮で郷土色豊かな食など、本県のさまざまな魅力に触れ、楽しんでいただければ幸いです。

結びに、今大会の開催に御尽力されました関係者の皆様に心から感謝を申し上げるとともに、今大会の成功と選手の皆様の御健闘をお祈りし、歓迎のことばといたします。



あいさつ



きら
青の煌めきあおもり国スポ
平川市実行委員会 会長

く どう たか ひろ
平川市長 工 藤 貴 弘

第80回国民スポーツ大会は、本年1月から2月に行われた冬季大会と併せ、「完全国スポ」として開催いたします。

第71回岩手大会以来、10年ぶりとなる「完全国スポ」を締めくくる本大会が、縄文の時代から育まれてきた歴史と文化を有し、豊かな風土に恵まれた本州最北の地、ここ青森県において、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

本年は、第25回オリンピック冬季競技大会（ミラノ・コルティナ）や第20回アジア競技大会（愛知・名古屋）などの大規模な国際総合競技大会が開催され、多くのアスリートが華々しい活躍を見せています。

また、初の北中米共催となった、サッカーFIFAワールドカップ2026も大きな盛り上がりを見せ、日本中がスポーツの熱狂と感動に包まれる1年となっています。

本大会がこの熱狂と感動をさらに高め、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」というスローガンの通り、出場するアスリートの皆様にとって、世界へ羽ばたく契機となることを切に願っています。

さて、日本スポーツ協会では、「有識者会議」からの提言に基づき、令和7年7月、改革を具体的に進める組織として、「国スポ改革タスクフォース」を設置しました。

今後、現状と課題を分析し、国民スポーツ大会が競技性・祝祭性・社会性・文化性を掛け合わせた、「トップアスリートと地域スポーツの好循環 ～人と地域の未来を創る～」という理念を具現化できる大会となるよう、検討を進めることとしております。

結びに、昨年12月に発生した青森県東方沖地震などにより、県内各地で甚大な被害が生じる中、本大会の開催にあたり諸準備にご尽力いただきました、青森県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



歓迎のことば



青森県エアロビック連盟
会 長 今 久 一

盛夏の候、全国各地からここ青森県平川市にお迎えいたしました選手の皆様、ならびに役員・関係者の皆様を、心より大歓迎申し上げます。

本日ここに、「あおの煌めきあおもり国スポ」エアロビック競技会が「ひらかわドリームアリーナ」において盛大に開催されますことは、青森県エアロビック連盟にとりましても、この上ない喜びであり、大きな誇りであります。また、本大会の開催にあたり、多大なるご尽力をいただきました関係各位に対し、深く感謝申し上げます。

エアロビック競技は、高い身体能力と芸術的な表現力が融合したすばらしいスポーツです。選手の皆様が、日頃の厳しい練習の成果を遺憾なく発揮し、この舞台で躍動される姿は、観る人々に深い感動と活力を与えてくれるものと確信しております。一瞬一瞬に込めた皆様の情熱が、このアリーナで「煌めき」となって輝くことを心から期待しております。

ここ平川市は、豊かな自然と温かい人情に恵まれた美しい街です。競技の合間には、ぜひ青森の爽やかな風を感じ、地域の魅力にも触れていただければ幸いです。全国から集った同志が一堂に会するこの機会に、互いの健闘をたたえ合い、友情の輪をさらに広げていただけることを願ってやみません。本大会にご参加の皆様のご健闘と今後のさらなるご飛躍、そしてご臨席いただきました皆様のご多幸を心より祈念いたしまして、歓迎の言葉といたします。

令和8年8月22日



- 8 -



渡城若新小寺清水柿神福横鈴宮川馬河町納津達大熊新阿伊齋丸後服麻	邊戸林宮菅澤水田士町富賀井谷部藤山藤部生	浩英繁領正真恭潤珠俊恒俊益正幸一拓和俊八守歲元達正誠益	三敏幸毅司孝人良一美明靖一弘也滿男宏彦朗一恭彦純太郎直	田小岩川宇山福田茂木山西三深藤砂村大土岩福小山田高福越綾宮日	中柳元上津口里村中本澤岡田井野居城田小谷山野口橋谷宗田原隈	稔勝幸隆妙純かおる毅次郎泉記温祐直良章滿正淳光有富實之義祥健孝裕耕俊	高辛平佐菊中増浅江工濱有坂島金後真世久北吉遠岡石中西宮迫大平塩	岡木良藤村子野渡藤館森田丸藤砂耕保村藤田脇崎谷塚田	晃秀朝廣幸裕敦聰慎豐裕東慎恭正弘素美祐伸嵩隆章岩研康	仁子治子一之宏行德康光子一二文幸威成子聰榮司浩人二俊泉男一	青宮藤奈小林小矢津田風尾鈴三富安中土笹丹荒北大花高村高林村今木玉	木成原良小林野島名張崎木須山道村羽川野村橋岡城村	章康正隆美樹和彦淳匡子一大地泰明二一人弘善秀裕清元英秀知昭嗣純敬	泰藏樹隆美樹彦淳代子地泰明二一人弘善秀裕清元英秀知昭嗣純敬
---------------------------------	----------------------	-----------------------------	-----------------------------	--------------------------------	-------------------------------	------------------------------------	---------------------------------	---------------------------	----------------------------	-------------------------------	----------------------------------	--------------------------	----------------------------------	-------------------------------



参 与	籾	井	圭	子	大	杉	住	子	中	村	宇	一	廣	田	美	香
	阿	部	祐	己	安	藤	晴	美	伊	吹	信	一	井	本	貴	之
	蛭	沢	正	勝	大	崎	光	明	大	澤	祥	宏	大	澤	敏	彦
	大	平	陽	子	小	笠	原	大	川	村		悟	菊	池		勲
	北	向	由	樹	木	明	和	人					工	藤	兼	光
	工	藤	悠	平	後	藤	清	安	小	比	類	卷	正	規		博
	齐	藤	孝	昭	齊	藤		爾	鹿	内		博	清	水	悦	郎
	高	橋	修	一	高	畑	紀	子	田	中	順	造	田	名	部	定
	田	端	深	雪	鶴	賀	谷	貴	寺	田	達	也	夏	坂		修
	夏	堀	嘉	一	夏	堀	浩	一	成	田	陽	光	花	田	栄	介
	福	士	直	治	丸	井		裕	三	橋	一	三	森	内	之	保
	山	田		知	山	谷	清	文	吉	田	ゆ	かり	吉	侯		洋
	和	田	寛	司	奥	田	忠	雄	大	田		圭	平	間	恵	美
	安	田		博	松	本	史	晴	中	野	博	之	久	慈	美	穂
	三	浦	猛	史	千	葉	雄	文	後	村	文	子	細	谷	健	司
	船	木	久	義	豊	島	信	幸	秋	野		桂	上	沢	謙	一
	工	藤	泰	正	栗	林	豊		新	屋	孝	文				
	佐	藤		剛	安	田	貴	司	東	山	国	男	大	山		力
	山	本	恒	太	津	田	英	一	米	内	正	明	小	山	内	修
	堤		静	子	橋	場	保	人	目	澤	伸	一	山	口	龍	城
	高	杉	勝	彦	工	藤	裕	司	中	居	敬	子	川	浪	泰	浩
	宮	野	孝	晶	田	村	琢	哉	中	川	伸	吾	里	村	智	彦
	佐	藤	忠	全	倉	橋	純	造	一	戸	善	正	櫛	引	利	貞
	七	尾	嘉	信	佐	藤	健	一	岡	島	裕	史	工	藤	智	久
	三	上	千	春	高	木	伸	也	高	杉	金	之	小	関	幸	一
	外	崎	れ	い	子											
委 員 長	山	本		浩												
副 委 員 長	岩	田	史	昭	石	田	裕	美	出	崎	和	夫				
総 務 委 員	松	永	敬	子	三	宅	宏	実	稲	垣	公	雄	笠	野	英	弘
	関	口	直	樹	菅	原	哲	朗	田	崎	博	道	松	田	基	子
	三	ヶ	田	礼	山	澤	文	裕	福	田	一	稔	宇	野		武
	二	宮	智	浩	小	竹	喜	也	田	内	慎	也	秋	田	勝	行
	中	尾	慶	一	下	條	伸	彦	江	橋	千	晴	宮	本		忠
	小	澤	大	樹	小	笠	原	忠	高	井	和	紀				



委 員	平	野	了	高	橋	聖	一	永	井	雅	史	神	山	康	洋			
	福	士	幸	栗	原		崇	竹	ノ	脇	智	秋	鈴	木	克	宜		
	葛	西	玲	濱	野		勉	寺	澤		淳	黒	川	重	男			
	舟	喜	信	福	島		一	中	梶		秀	則	堀	越		浩		
	加	藤	憲	宮	川		良	鈴	木		章	広	川	口		巖		
	山	口	俊	岡	泉		茂	朝	倉		康	善	木	塚	鉄	也		
	平	井	宏	濱	崎		滿	岸	川		剛	之	西	原	斗	司	男	
	山	口	鉄	菅	原		正	伊	東		毅	嗣	長	南	哲	生		
	衛	藤	敬	上	久	保		僚	中	段		亜	由	美	鈴	木	信	吾
	内	田	淳	関	根		明	子	中	山		二	三	男	崎	村	尚	人
	吉	田	由	杉	本		好	二	國	重		さ	ゆ	り	高	梨	治	紀
	川	口	雅	田	邊		賢	一	山	口			剛	富	澤	佑	也	
	政	岡	航	坊		百	花		井	澤		貫	太	田	口	雅	紀	
	寺	垣	佑	柿	崎		繁	信	橋	口		真	夕	田	中	遥	太	
	町	屋	毅	山	本		高	史	松	橋		伸	哉	長	谷	川	光	昭
	白	幡	博	田	畑		幸	浩	加	藤		雄	樹	小	林	健	也	
	幸	田	和	大	貫		大	輔	小	池		則	之	今	井	隆	元	
	三	浦		舟	木		雅	美	阿	部		哲	也	片	岡	英	史	
	福	居	久	三	武		紀	子	長	坂		嘉	久	井	澤	克	行	
	林		剛	稻	葉		晴	伸	森	島		哲	也	和	田	吉	史	
	中	野	真	佐	々	木		智	木	原		哲	也	越	智	敏	文	
	小	林		中	嶋		純	也	前	田		康	博	松	本	守	正	
	松	本	綾	中	田		健	治	石	津		雅	之	加	藤		泰	
	高	田	孝	日	野		剛		前	田		義	朗	笠	井	康	行	
	尾	鷺	一	川	端		利	行	濱	本		昌	宏	吉野賢一郎				
	都	甲	尚	山	元		尚	史	黒	田		裕	史	高	野	瑞	洋	
	遠	藤	信	角	屋		憲	正	千	葉		雅	也	菅	間	裕	晃	
	岡	崎	正	角	田		真	司	加	藤	木	紳	克	柄	澤	宏	之	
	杉	田		塩	田		憲	司	藤	丸		伸	和	河	野	公	紀	
	碓	井		武	田		知	己	井	上			哲	今	後	元	彦	
	沼	田	守	田	部	長	右	衛	松	井			守	吉	岡	直	彦	
	高	岡	晃	葛	目		憲	昭	寺	崎		雅	巳	田	島	祥	嗣	
荒	木	健	平	江		公	一	黒	木		淳	一	城	間	敏	生		
丹	羽	浩																



競技会役員

競技会名誉会長
競技会会長
競技会副会長
競技会実行委員長

工藤 貴弘
大岡 敏孝
赤間 俊一
今 久一

競技役員

主任審判員
審判員
フライト種目指導

佐藤 玲子 大友 えみ子
北田 史 林 美樹 後藤 奈穂子
吉山 喜代美 嶋守 奈津子

競技係員

大会運営主任
大会進行主任
大会記録・受付主任
デモ指導
司会・進行
音 響
撮 影

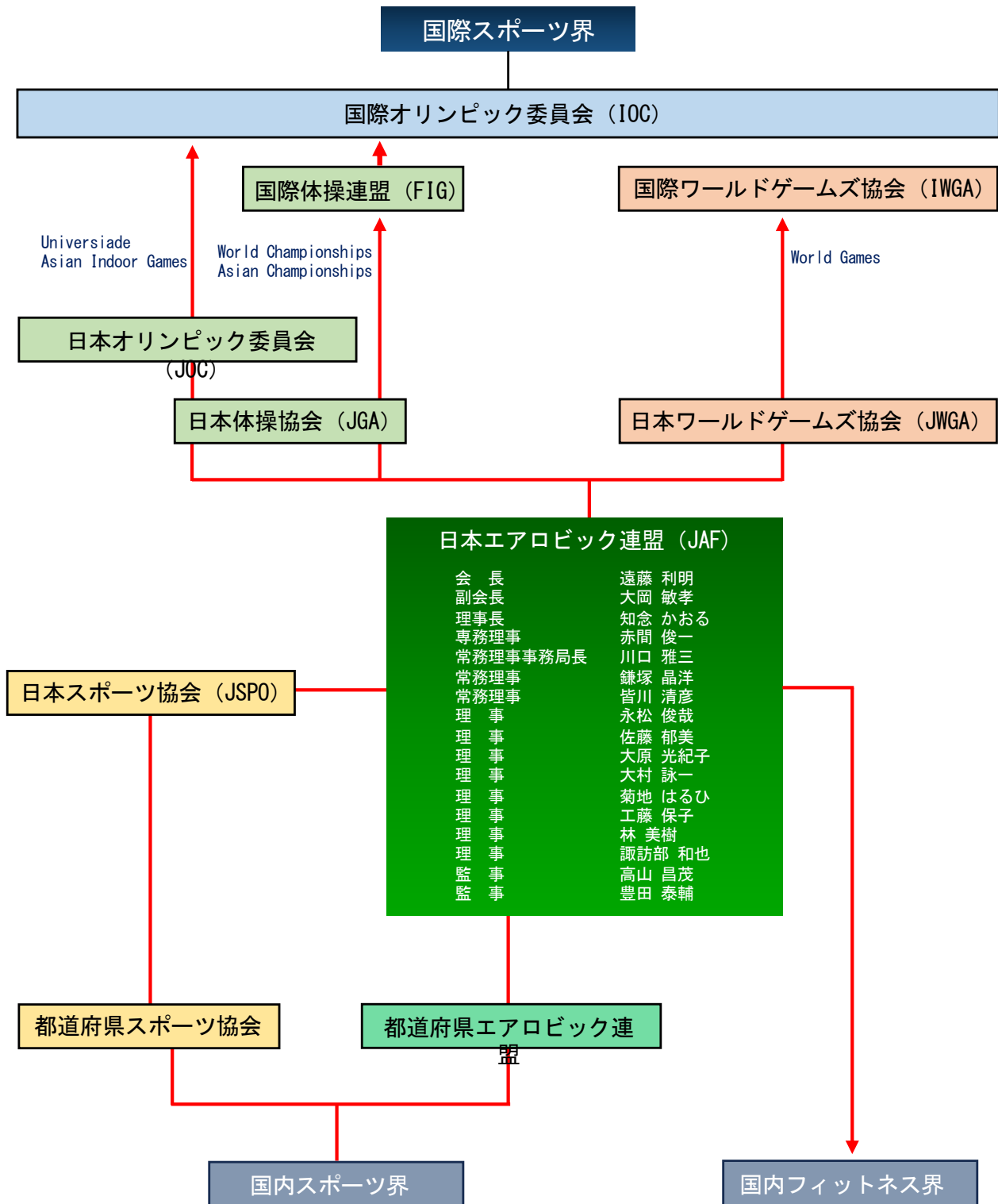
川口 雅三
原 大知
佐藤 亜沙美
舘 信子 葛西 天子 藤田 靖子
小笠原 豊和 成田 樹里
盛 隆 鈴木 慎三
梶山 貴浩

競技補助員

佐藤 光子 相馬 智子 赤平 秋子 木村 千鶴子 須藤 智子 内山 きよ子
成田 厚子 藤田 靖子 小笠原 利江 高木 千代子 葛西 天子 今井 亮太
伊藤 和将 葛西 湧也 古川 宜季



国際・国内スポーツ団体相関図





〔 7 〕 エアロビック競技

1 期 日 2026 年 8 月 22 日（土）から 8 月 23 日（日）まで 2 日間

種 別	8 月 22 日（土）	8 月 23 日（日）
成年混合 少年混合 成年女子 成年女子 成年男子	AD 種目チャレンジ・チーム AD 種目ティーンズ AD 種目シニア女子 I AD 種目シニア女子 II AD 種目シニア男子	
少年混合 成年混合 成年混合 成年混合 成年混合		フライト種目 Over15 フライト種目 Over18 フライト種目 Over30 フライト種目 Over50 フライト種目 Over60

2 会 場 平川市 ひらかわドリームアリーナ

3 種別及び参加人員

種 別	選 手	チーム／選手	小 計	合計（人）
成年混合 少年混合 成年女子 成年女子 成年男子	AD 種目 チャレンジ・チーム 90 ティーンズ 30 シニア女子 I 30 シニア女子 II 35 シニア男子 30		215	490
少年混合 成年混合 成年混合 成年混合 成年混合		フライト種目 Over15 50 Over18 50 Over30 50 Over50 65 Over60 60	275	

4 競技上の規程及び方法

- (1) AD 種目は「JAF エアロダンス規則」に準じて実施する。
- (2) フライト種目は「JAF フライト競技規則」規則に準じて実施する。
- (3) 採点は公益社団法人日本エアロビック連盟認定審判員が行う。
- (4) フライト種目は指導者の指示に合わせて選手が一斉に競技を行う対面方式で実施する。
- (5) AD種目の個人競技は1分～1分15秒程度、チーム競技は1分30秒～1分45秒程度のパフォーマンスを10m四方の競技エリアの中で行い、審判員が採点する方式で実施する。



5 予選方法

各ブロックにおいて予選会や選考会議を実施し、本大会代表を選出する。

(詳細は別途ご案内)

なお、原則として各ブロックに割り当てられている代表数を超過してはならないが、AD 種目シングル及びフライト種目は、予選会で同点により超過した場合はこれを認める。

また代表数内であれば部門間の人数変更を認める。

ブロック	都道府県	AD 種目 チーム	AD 種目 シングル		フライト種目
		混合 (最大)	男子	女子	混合
北海道ブロック	北海道	10 名	3 名	4 名	20 名
東北ブロック	青森、秋田、岩手 宮城、山形、福島	10 名	2 名	3 名	40 名
関東ブロック	茨城、栃木、群馬 埼玉、新潟、千葉 東京、神奈川、山梨	12 名	10 名	30 名	60 名
北陸ブロック	富山、石川、福井	8 名	2 名	5 名	10 名
中部ブロック	長野、静岡、愛知 三重、岐阜	15 名	5 名	20 名	40 名
近畿ブロック	滋賀、京都、大阪 兵庫、奈良、和歌山	15 名	3 名	10 名	30 名
中国ブロック	鳥取、島根、岡山 広島	5 名	3 名	4 名	25 名
四国ブロック	香川、徳島、愛媛 高知	5 名	1 名	1 名	10 名
北九州ブロック	山口、福岡、佐賀 長崎、大分	5 名	3 名	6 名	20 名
南九州ブロック	熊本、宮崎、鹿児島 沖縄	5 名	2 名	8 名	20 名
合 計		90 名	34 名	91 名	275 名

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則 5 に定めるもののほか、次による。

公益社団法人日本エアロビック連盟の当該年度選手登録を完了した選手であること。(チームはメンバー内 1 名のみで可とする。) 少年の部出場選手は開催年の 4 月 1 日現在、15 歳以上 18 歳未満の男女、成年の部出場選手は開催年の 4 月 1 日現在、18 歳以上の男女とする。

- (1) AD 種目ティーンズ部門及びフライト種目 Over15 に出場できる選手は 15 歳から 17 歳までの男女とする。
- (2) AD 種目シニア女子 I 部門に出場できる選手は 18 歳から 49 歳までの女子とする。
- (3) AD 種目シニア女子 II 部門に出場できる選手は 50 歳以上の女子とする。
- (4) AD 種目シニア男子 I 部門に出場できる選手は 18 歳以上の男子とする。
- (5) フライト種目 Over18 部門に出場できる選手は 18 歳から 29 歳までの男女とする。



- (6) フライト種目 Over30 部門に出場できる選手は 30 歳から 49 歳までの男女とする。
- (7) フライト種目 Over50 部門に出場できる選手は 50 歳から 59 歳までの男女とする。
- (8) フライト種目 Over60 部門に出場できる選手は 60 歳以上の男女とする。

7 表 彰

- (1) 各種目の成績により入賞者に賞状を授与する。
- (2) 参加者全員に、大会参加記念品を授与する。
- (3) 各種目の入賞者は下表の通り出場人数に比例して定める。

出場選手数	入賞数
1～4 名（組）	1 位
5～10 名（組）	3 位
11～16 名（組）	6 位
17 名（組）以上	8 位

8 参加申込方法

- (1) 都道府県連盟は、所定の「参加申込フォーム」に必要事項を記入の上、下記宛に 2026 年 6 月 1 日（月）から 6 月 14 日（日）までの期間内にメールで提出すること。

申込先	宛先
公益社団法人 日本エアロビック連盟 業務部	E-mail athlete2@aerobic.or.jp

- (2) 都道府県連盟は、当該都道府県から出場する選手の参加負担金を取りまとめて、上記期間内に下記の口座に振込みを完了すること。

みずほ銀行(0001) 祐天寺支店(224) 普通 1839078 公益社団法人日本エアロビック連盟公益会計

9 参加負担金

- (1) 成年種別 AD 種目チャレンジ・チーム部門は 1 人 4,800 円とする。
- (2) 少年種別 AD 種目ティーンズ部門は 1 人 5,900 円とする。
- (3) 成年種別 AD 種目シニア男女部門は 1 人 7,200 円とする。
- (4) 成年種別フライト種目各部門は 1 人 6,100 円とする。

10 参加上の注意

- (1) 大会保険、怪我等について
 - ア 発生した傷害の補償について本連盟が加入するスポーツ傷害保険の範囲とする。
 - イ 会場における疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行うが、その他の責任は自己責任とする。また、会場との往復経路における事故等に関しても自己責任とする。
 - ウ 参加選手、大会関係者は、大会期間中は自己責任において健康管理を行うものとし、事前にスポーツ傷害保険等への加入を推奨する。
- (2) 会場までの移動は各自の負担とする。



- (3) 交通、宿泊は各自の負担とする。
- (4) 荷物の管理は各自の責任とする。

11 個人情報の取扱いについて

参加申込フォーム(同意書を含む。)に記載された個人情報については、以下の青の煌めきあおもり国スポに関する業務に使用する。また、申込時点で本人の同意が得られたこととする。

- (1) 青の煌めきあおもり国スポへの参加意思及び参加人数の確認
- (2) 競技参加資格の確認(年齢、性別、所属、保護者の同意など)
- (3) 参加案内等の送付
- (4) 競技別プログラムの作成
- (5) 賞状等の筆耕
- (6) 競技の結果、映像、写真の記録業務への使用及び広報誌、インターネット等への掲載

12 その他

- (1) 演技順は主催者で決定し、大会1か月前を目処に、日本エアロビック連盟ホームページで発表する。
- (2) 荒天時は、主催者側が当日午前6時までに中止を判断する。その場合、日本エアロビック連盟ホームページ及び青の煌めきあおもり国スポ平川市実行委員会の公式ホームページにて確認すること
- (3) 昼食は各自で準備をすること。



競技日程 8月22日（土）

8:30	開 場 デモンストレーション
10:00	開会式
10:30	チャレンジ・チーム部門（13チーム）競技
11:15	休 憩（10分）
11:25	ティーンズ部門（10名）
12:00	昼食・休憩
12:45	シニア女子Ⅱ部門（24名）
14:00	休憩（10分）
14:10	シニア男子部門（18名）
15:05	休 憩（10分）
15:15	シニア女子Ⅰ部門（25名）
16:20	休 憩（20分）
16:40	結果発表/表彰式
17:10	終了

競技日程 8月23日（日）

8:30	開 場 デモンストレーション
10:00	開 会
10:15	OVER60部門 予選ラウンド（30分）
10:50	休 憩（10分）
11:00	OVER50部門 予選ラウンド（30分）
11:35	休 憩（10分）
11:45	OVER30/OVER18部門 予選ラウンド（30分）
12:20	昼食・休憩
13:00	予選ラウンド通過者発表
13:20	休憩（10分）
13:30	OVER60部門 決勝ラウンド
13:55	OVER50部門 決勝ラウンド
14:20	OVER30部門 決勝ラウンド
14:30	OVER18部門 決勝ラウンド
14:40	OVER15部門 決勝ラウンド
14:50	休 憩（30分）
15:20	結果発表/表彰式 次年度開催地メッセージ
16:00	大会閉会宣言



組合せ表 8月23日 (土)

【成年混合】エアロダンス種目チャレンジ・チーム部門 10:30～

No.	チ ャ ム 名	都 道 府 県 名	得 点
1	K・T・M revolution	茨城県	
2	Style Dance R	熊本県	
3	THIRD IMPACT	福島県	
4	チーム kani!! kani!! kani!!	京都府	
5	DERA-A-Girls	愛知県	
6	ティーダ∞	大阪府	
7	MGT伊達	宮城県	
8	ADVANCE4	滋賀県	

No.	チ ャ ム 名	都 道 府 県 名	得 点
9	KUMAMOTOーヨシ!行くぞー	熊本県	
10	SFDK NEXtUS	新潟県	
11	HOLIDAY☆STARS	滋賀県	
12	Hobo OTONA!	神奈川県	
13	かふえおれ	静岡県	
14	From Nagano	長野県	
15	スマイルハッピーシニア	静岡県	

【少年混合】エアロダンス種目ティーンズ部門 11:25～

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
1	大江 莉那	富山県	
2	小林 綾奈	茨城県	
3	栗山 爽	滋賀県	
4	小野澤 萌衣	埼玉県	
5	堀内 美鈴	宮城県	
6	鴻原 ほたる	滋賀県	
7	高橋 花歩	滋賀県	
8	和氣 芽佳	東京都	
9	小井土 咲生	東京都	
10	村松 桜羽	静岡県	

【成年女子】エアロダンス種目シニア女子Ⅱ部門 12:45～

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
1	古内 奈緒	埼玉県	
2	山内 貴公美	岐阜県	
3	上野 直美	宮城県	
4	西沢 富江	愛知県	
5	伊藤 智佳	宮城県	
6	金子 早苗	岐阜県	
7	田上 友香理	京都府	
8	土田 悦子	埼玉県	
9	北澤 幸子	長野県	
10	兵藤 千香子	北海道	
11	佐々木 真理	宮城県	
12	室川 佐代子	和歌山県	

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
13	松村 恵子	北海道	
14	加藤 真由美	東京都	
15	内山 はるみ	岐阜県	
16	吉田 美奈子	大阪府	
17	赤沢 咲子	長野県	
18	河村 照美	滋賀県	
19	及川 容雅子	静岡県	
20	酒田 優子	神奈川県	
21	溝江 有香	東京都	
22	横井 純子	愛知県	
23	川上 聡子	千葉県	
24	堀木 好	三重県	



【成年男子】エアロダンス種目シニア男子部門 14:10～

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
1	田村 憲吾	東京都	
2	鈴木 斗頼	北海道	
3	島田 徹	埼玉県	
4	小川 将輝	福岡県	
5	根岸 隆樹	群馬県	
6	建部 優	埼玉県	
7	山下 正紘	静岡県	
8	銭場 伸一	埼玉県	
9	橋本 隆介	広島県	

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
10	道谷 龍	富山県	
11	常山 秀治朗	神奈川県	
12	田上 久仁夫	愛知県	
13	中元 圭剛	福岡県	
14	堀 浩二	静岡県	
15	高橋 才明	東京都	
16	金子 周平	東京都	
17	植松 雄太	神奈川県	
18	田中 樹	北海道	

【成年女子】エアロダンス種目シニア女子 I 部門 15:15～

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
1	藤谷 瑠菜	愛知県	
2	小松 由布佳	熊本県	
3	中島 舞陽	福岡県	
4	橋本 陽子	千葉県	
5	戸田 千晶	滋賀県	
6	横山 志穂美	埼玉県	
7	杉山 智美	静岡県	
8	松本 萌花	埼玉県	
9	竹内 真利奈	神奈川県	
10	永倉 夏穂	鹿児島県	

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
11	真野 安奈	静岡県	
12	原田 綺花	岐阜県	
13	村松 芹奈	沖縄県	
14	田崎 莉子	熊本県	
15	安齋 怜奈	宮城県	
16	谷口 亜里	京都府	
17	佐藤 由姫	東京都	
18	小松田 葵	神奈川県	
19	赤沢 あゆみ	長野県	
20	木津 早耶子	神奈川県	
21	中村 千織	長野県	



組合せ表 8月24日（日）

【少年混合】フライト種目Over15部門 11:45～

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
1	松田 朱理	茨城県	
2	堀内 美鈴	宮崎県	
3	横川 結迦	茨城県	
4	村松 桜羽	静岡県	
5	高橋 彩那	静岡県	
6	山崎 桃嘉	岩手県	
7	森田 捺珠	愛媛県	
8	吉田 綾	愛知県	
9	鈴木 咲葵	福島県	
10	小林 憩	新潟県	

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
11	見学 美波	茨城県	
12	川田 結生奈	神奈川県	
13	小井土 咲生	東京都	
14	鴻原 ほたる	滋賀県	
15	伊藤 衣織	岩手県	
16	菊池 恵暖	岩手県	
17	森田 結捺	愛媛県	
18	工藤 楓菜	岩手県	
19	吉田 玲雪	岩手県	
20	高橋 花歩	滋賀県	

【成年混合】フライト種目Over60部門 10:15～

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
1	芳尾 一美	兵庫県	
2	松村 恵子	北海道	
3	木村 千恵美	広島県	
4	森川 かおり	熊本県	
5	河本 和行	神奈川県	
6	橋本 隆介	広島県	
7	及川 容雅子	静岡県	
8	加藤 真由美	東京都	
9	小松 久美子	宮城県	
10	岡村 洋子	熊本県	
11	松本 典子	宮城県	
12	山野辺 ふみえ	福島県	
13	鈴木 美すず	北海道	
14	中居 すみ江	広島県	
15	銭場 伸一	埼玉県	
16	佐藤 郁子	熊本県	
17	竹内 やす子	大阪府	
18	斉藤 美治	神奈川県	
19	矢口 美千代	千葉県	
20	小野寺 紀子	宮城県	
21	酒田 優子	神奈川県	
22	和田 由紀恵	広島県	
23	鈴木 理枝子	宮城県	
24	高嶋 美樹	山形県	
25	日野 小百合	兵庫県	
26	中元 美由紀	福岡県	
27	並木 学	北海道	

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
28	阿部 ユミ	山形県	
29	土田 悦子	埼玉県	
30	田村 洋美	岡山県	
31	鈴木 幸次	神奈川県	
32	中鉢 優子	宮城県	
33	加藤 美津子	山形県	
34	石田 千晶	北海道	
35	岡本 由利子	神奈川県	
36	鏑鍋 仁美	広島県	
37	田原 昭彦	神奈川県	
38	大澤 洋子	東京都	
39	渡部 千鶴子	山形県	
40	岩崎 美香	宮城県	
41	河本 尋子	岡山県	
42	割石 清明	大阪府	
43	小島 奉行	福島県	
44	日下 正子	福島県	
45	根岸 隆樹	群馬県	
46	田中 君枝	福島県	
47	北澤 幸子	長野県	
48	岸田 波香	神奈川県	
49	山内 貴公美	岐阜県	
50	諏訪 知子	宮城県	
51	岡崎 眞美子	北海道	
52	梶川 彰彦	広島県	
53	坂本 和代	富山県	
54	河野 満理	熊本県	



【成年混合】フライト種目Over50部門 11:00～

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
1	田上 友香理	京都府	
2	河村 照美	滋賀県	
3	竹内 めぐみ	群馬県	
4	宮脇 芳照	京都府	
5	尾木 礼可	大阪府	
6	堀 浩二	静岡県	
7	西尾 真理子	福島県	
8	榎内 真理子	福島県	
9	山口 景子	大阪府	
10	土信田 有紀	岩手県	
11	堀木 好	三重県	
12	吉田 めぐみ	愛知県	
13	中野 ひとみ	神奈川県	
14	荻野 陽子	京都府	
15	西沢 富江	愛知県	
16	富永 賢治	埼玉県	
17	奥作 かおり	兵庫県	
18	渡邊 清美	福島県	
19	小栗 睦子	北海道	
20	石橋 敦子	福島県	
21	佐々木 真理	宮城県	
22	西尾 清	福島県	
23	村上 康子	広島県	

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
24	吉田 美奈子	大阪府	
25	川上 聡子	千葉県	
26	沼田 千恵子	北海道	
27	植田 由美	熊本県	
28	田上 久仁夫	愛知県	
29	池崎 貴子	広島県	
30	杉浦 美香	愛知県	
31	上村 裕子	宮崎県	
32	吉田 陽子	北海道	
33	鈴木 美佳	宮城県	
34	富樫 民江	滋賀県	
35	山中 祐治	大阪府	
36	清水 尚子	東京都	
37	荻野 富美子	宮城県	
38	鈴木 英昭	福島県	
39	三好 郁代	香川県	
40	桑野 俊夫	大阪府	
41	市川 千賀子	北海道	
42	佐藤 真喜子	山形県	
43	鈴木 美恵子	栃木県	
44	小林 泰夫	群馬県	
45	伊藤 智佳	宮城県	
46	古市 泰久	三重県	
47	植松 香奈	神奈川県	



【成年混合】フライト種目0ver30部門 11:45～

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
1	伊藤 麗奈	宮城県	
2	横山 志穂美	埼玉県	
3	田上 陽菜	熊本県	
4	黒沢 敬一	福島県	
5	大澤 香織	東京都	
6	中野渡 快人	青森県	
7	橋本 陽子	千葉県	
8	池田 厚	福島県	
9	鈴木 恵美	宮城県	
10	竹内 真利奈	神奈川県	
11	立川 成美	新潟県	
12	白鳥 由起	東京都	

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
13	小松田 葵	神奈川県	
14	河野 さゆり	群馬県	
15	盛田 かおり	宮城県	
16	中元 圭剛	福岡県	
17	今 樹菜	北海道	
18	丸山 裕加	愛知県	
19	谷口 亜里	京都府	
20	杉村 昭恵	北海道	
21	佐藤 由姫	東京都	
22	山田 佳世	愛知県	
23	青木 志津香	滋賀県	
24	田村 憲吾	東京都	

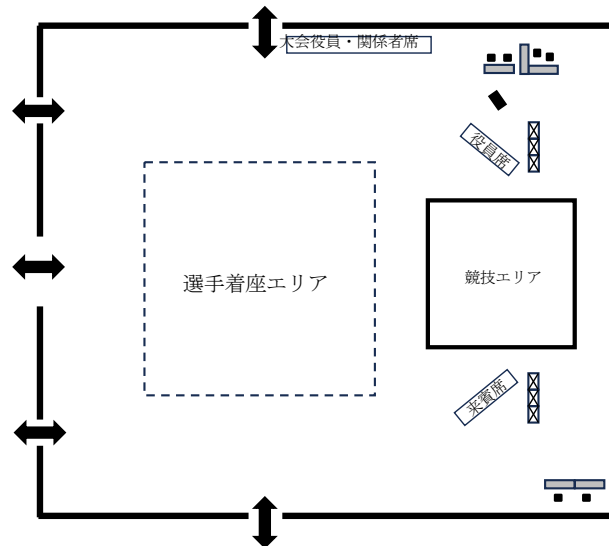
【成年混合】フライト種目0ver18部門 11:45～

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
1	福田 彩華	熊本県	
2	杉山 智美	静岡県	
3	三橋 水樹香	静岡県	
4	石橋 諒祐	福島県	
5	長田 奏	新潟県	
6	永倉 夏穂	鹿児島県	
7	村松 芹奈	沖縄県	
8	田崎 莉子	熊本県	
9	後藤 日記	宮城県	
10	藤谷 瑠菜	愛知県	
11	石橋 杏耶佳	福島県	
12	中村 博人	滋賀県	

No.	氏 名	都 道 府 県 名	得 点
13	松本 萌花	埼玉県	
14	中島 舞陽	福岡県	
15	木口 愛理	岩手県	
16	鍋田 莓花	茨城県	
17	戸田 帆南	岡山県	
18	和田 惇希	熊本県	
19	常山 秀治朗	神奈川県	
20	太田 菜月	東京都	
21	原田 綺花	岐阜県	
22	河野 莉娃	福岡県	
23	角谷 美空	新潟県	
24	田中 樹	北海道	

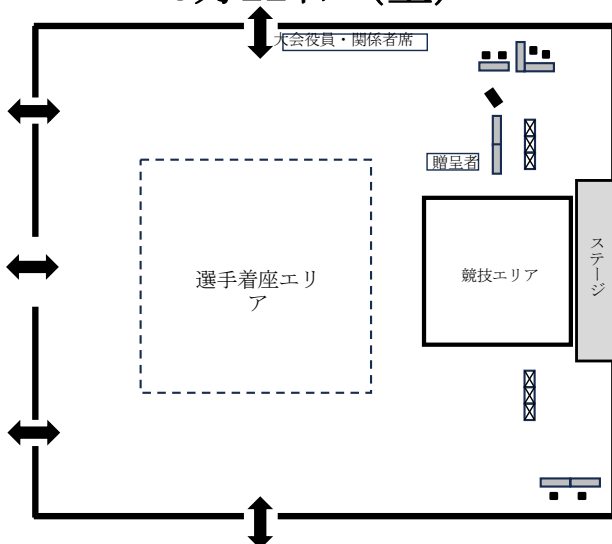


式典会場図・8月22日（土）開会式

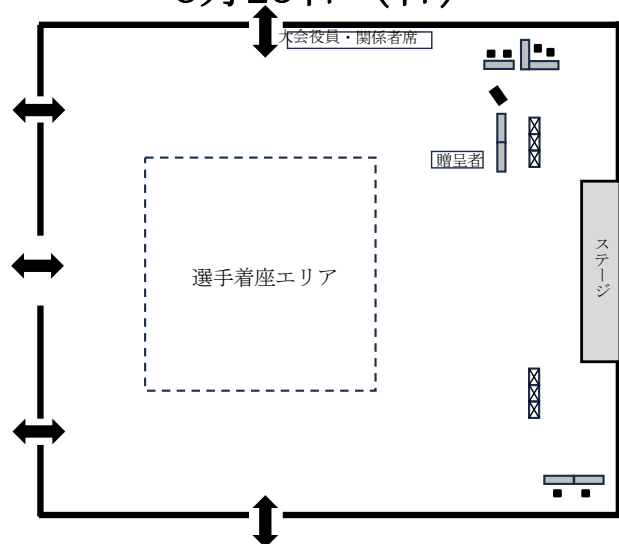


式典会場図・結果発表/表彰式

8月22日（土）



8月23日（日）





開会式式次第 8月22日（土） 9:45～10:30

デモンストレーション①

デモンストレーション②

開式通告

大会開会宣言

国歌斉唱

主催者挨拶

歓迎のことば

審判員・選手宣誓

ご来賓ご祝辞

審判員紹介

デモンストレーション③

平賀保育園園児による太鼓の演奏

日本パラエアロビック連盟フライトデモンストレーション

競技会実行委員長

青森県エアロビック連盟会長 今 久一

競技会副会長

公益社団法人日本エアロビック連盟専務理事 赤間 俊一

競技会名誉会長

平川市長 工藤 貴弘

審判員代表 主任審判員 佐藤 玲子

選手代表 青森県代表 中野渡 快人

スローエアロビックウエルカムデモンストレーション

表彰式式次第 8月22日（土） 16:40～17:10

チャレンジ・チーム部門 結果発表/表彰（上位3位）

写真撮影

ティーンズ部門 結果発表/表彰（上位3位）

写真撮影

シニア女子Ⅰ部門 結果発表/表彰（上位3位）

写真撮影

シニア女子Ⅱ部門 結果発表/表彰（上位3位）

写真撮影

シニア男子部門 結果発表/表彰（上位3位）

写真撮影



開会式式次第 8月23日（日）9:45～10:15

デモンストレーション①
開式通告
歓迎のことば
審判員紹介
デモンストレーション②
リーダー紹介

柏木農業高校によるねぶた囃子ねりあるき

平川市教育長 小山内 敏治

みんなでスローエアロビック

表彰式式次第 8月23日（日） 15:20～16:00

OVER60部門 結果発表/表彰（上位3位）
写真撮影
OVER50部門 結果発表/表彰（上位3位）
写真撮影
OVER30部門 結果発表/表彰（上位3位）
写真撮影
OVER18部門 結果発表/表彰（上位3位）
写真撮影
OVER15部門 結果発表/表彰（上位3位）
写真撮影

次年度開催地メッセージ
大会閉会宣言

宮崎県エアロビック連盟
青森県エアロビック連盟

黒木 テル子/岡本 真奈美/上村 裕子
中村 俊子



競技の見方

「エアロビクス」がスポーツに発展した競技エアロビック

エアロビックは、アメリカのケネス・H・クーパー博士が提唱した運動処方理論「エアロビクス」を起源として、その後に派生したエアロビックダンスやエクササイズを技術的に体系化して「スポーツ」に発展したものです。近年では体操競技と同様に表現スポーツや採点スポーツに位置づけられています。

競技の概要

国際大会につながる「エアロビック・ジムナスティック種目（AG種目）」、国内での普及を目指して策定された日本独自ルールに基づく「エアロダンス種目（AD種目）」、マスで動く楽しさも共有できる「フライト種目」の3種目があります。
青の煌めきあおもり国スポ・障スポでは「エアロダンス種目」と「フライト種目」の2種目を実施します。

エアロダンス種目概要

エアロビックらしいリズムカルで切れのよいステップの連続動作を用いて音楽を活用した創造的な演技を行います。

難度エレメントを実施する場合は、振り付けにうまく調和されていなければなりません。

ただし、難易度の高さによる加点はありません。チャレンジ・チーム部門では、フォーメーション/構成の面白さやチームワークの良さが重要となります。

演技の中には必ず4つの必修動作を組み込まなくてはなりません。

【競技エリア】	シングル	……	10m×10m四方程度
	チーム	……	10m×10m四方程度

【競技時間】	シングル	……	1分～1分15秒程度
	チーム	……	1分30秒～1分45秒程度

【使用曲】	原則自由。ただし、戦争/暴力/宗教を想起させるような音楽は不可。
-------	----------------------------------

【服 装】	・戦争、暴力、宗教を想起させるような衣装は不可 ・スポーティーな雰囲気であれば自由（ex. レオタードやスポーツウェアなど） 但し、動作の遂行度が判断しにくい服装や装飾品は控えること。 ・演劇的な衣装や演技のテーマに沿ったウェアもよいが、着脱は不可 ・小道具等の使用は不可（ex. 太鼓のばち、楽器、ボール、旗、ポンポンなど） ・エアロビック・シューズ又はフィットネス・シューズ ・髪型はスポーティーな雰囲気であれば自由（顔を覆う髪型でなければ、ピンで止めたり、まとめたりする必要はない）
-------	--

【演技構成】	・実施時に遂行度が低く安全性に欠けるアクロバティック的な動作は推奨しない ・4つの必修動作をルーティンに組み込むこと。チャレンジ・チーム部門の場合はメンバー全員が同じタイミングで実施する ・必修動作の実施順・身体の向き・移動は自由とする ・エアロビック動作のステップ・コンビネーションをメインにダンスや体操など他のジャンルの動きとのコラボレーションも可
--------	--



【必修動作】（全部門共通）

1. キック（4回以上連続）

両足を揃えた状態から、軸脚で弾みながらもう一方の脚の膝を伸ばしたまま左右交互に振り上げる。キックする方向は前、斜め、横など自由。

2. プッシュ・アップ（2回以上連続）

フロアに両手（又は片手）を着き、腕立て伏せを行う。バリエーションも可、脚の動きは自由（膝つきも可）。

3. ジャンプ（1回以上）

認識できるジャンプ・リープ等。

4. JJフレーズ（24カウント）

ジャンピング・ジャックを3回実施した後に準備動作を挟み（合計8カウント）、エアロビック動作のステップ・コンビネーションを用いて8カウントのフレーズを左右（右左）交互にシンメトリーで行うこと（8カウント×2）。

動きのビート感等、エアロビックの基本技術を表現する。

フライト種目概要

リズムカルなステップを音楽に合わせて連続的に動き続けることで、心肺持久力（スタミナ）を向上させる有酸素運動です。全身をバランスよく動かすので均整の取れた体づくりにも役立ちます。スタミナ（体力）と合わせてエアロビックの技術（技）や競技意欲（心）など総合的に評価する普及（市民スポーツ）型のエアロビック競技です。

【競技方法】 競技エリアの指定位置でフライトリーダーの指示に従い競技時間の間、音楽に合わせてマス（集団）で一斉に動き続ける予選ラウンドと予選ラウンド各部門上位選手により少人数グループ制で行われる決勝ラウンドの2ラウンド制で行います。

【競技時間】 予選ラウンド …… 30分程度
決勝ラウンド … 5分程度/1組

【服 装】 ・動きやすいウェアであれば種類やスタイルは自由です（Tシャツ、短パン可）
・シューズは室内履きを着用します（児童・生徒の上履きも可）
・髪型は運動に適した髪型とします
・ゼッケンは身体の前面に着用します



都道府県別参加人員

		監督	8月22日（土）					8月23日（日）				
			チャレンジ・チーム	ティーンズ	シニア女子Ⅰ	シニア女子Ⅱ	シニア男子Ⅰ	Over15	Over18	Over30	Over50	Over60
			組数（人数）									
1	北海道				2	2		1	2	4	5	
2	青森								1			
	秋田											
3	岩手						5	1		1		
4	宮城		1（7）	1	3			1	3	4	7	
5	山形									1	4	
6	福島		1（8）				1	2	2	6	4	
7	栃木									1		
8	茨城		1（3）	1			3	1				
9	群馬					1			1	2	1	
10	埼玉	1		1	2	3		1	1	1	2	
11	千葉			1	1				1	1	1	
12	神奈川		1（4）	3	1	2	1	1	2	2	7	
13	東京			2	1	2	3	1	1	4	1	2
14	長野		1（6）		2	2						1
	山梨											
15	新潟		1（2）				1	2	1			
16	富山	1		1		1						1
17	石川											
18	福井											
19	静岡	1	2（6）	1	2	1	2	2		1	1	
20	愛知		1（3）		1	2	1	1	1	2	4	
21	岐阜				1	3			1			1
22	三重					1					2	
23	滋賀		2（13）	3	1	1		2	1	1	2	
24	和歌山					1						
25	京都		1（5）		1	1				1	3	
	奈良											
26	大阪		1（7）			1					5	2
27	兵庫										1	2
	鳥取											
	島根											
28	岡山							1				2
29	広島						1				2	6
	山口											
30	香川										1	
31	高知											
32	愛媛							2				
	徳島											
33	福岡				1		2		2	1		1
	長崎											
	大分											
	佐賀											
34	熊本		2（5）		2				3	1	1	4
35	宮崎	1		1				1			1	
36	鹿児島				1				1			
37	沖縄				1				1			
合 計		4	15（69）	10	21	24	18	20	24	24	47	54



参加監督・選手一覧

北海道	選手	岡崎 眞美子
	選手	吉田 陽子
	選手	今 樹菜
	選手	市川 千賀子
	選手	小栗 睦子
	選手	松村 恵子
	選手	沼田 千恵子
	選手	杉村 昭恵
	選手	石田 千晶
	選手	田中 樹
	選手	兵藤 千香子
	選手	並木 学
	選手	鈴木 斗頼
	選手	鈴木 美すず
青森県	選手	中野渡 快人
岩手県	選手	伊藤 衣織
	選手	菊池 恵暖
	選手	吉田 玲雪
	選手	工藤 楓菜
	選手	山崎 桃嘉
	選手	土信田 有紀
宮城県	選手	木口 愛理
	監督	引地 博美
	選手	安齋 怜奈
	選手	伊藤 智佳
	選手	伊藤 麗奈
	選手	荻野 富美子
	選手	岩崎 美香
	選手	五十嵐由則
	選手	後藤 日記
	選手	高野 仁
	選手	高野 智子
	選手	今野 瞳輝
	選手	佐々木 真理
	選手	山崎美咲
	選手	小松 久美子
	選手	小野寺 紀子
	選手	松本 典子
	選手	上野 直美
	選手	諏訪 知子
	選手	盛田 かおり
	選手	村上 明優里
	選手	村上 優樹里
	選手	中鉢 優子
	選手	鈴木 恵美
	選手	鈴木 美佳
	選手	鈴木 理枝子
	選手	鈴木 真奈

山形県	選手	阿部 ユミ
	選手	加藤 美津子
	選手	高嶋 美樹
	選手	佐藤 真喜子
	選手	渡部 千鶴子
	選手	榎内 真理子
福島県	選手	黒沢 敬一
	選手	山野辺 ふみえ
	選手	小島 奉行
	選手	西尾 真理子
	選手	西尾 清
	選手	石橋 杏耶佳
	選手	石橋 敦子
	選手	石橋 諒祐
	選手	池田 厚
	選手	田中 君枝
	選手	渡邊 清美
	選手	日下 正子
	選手	鈴木 英昭
	選手	鈴木 咲葵
栃木県	選手	鈴木 美恵子
茨城県	選手	横川 結迦
	選手	見学 美波
	選手	見学 翔一
	選手	小林 綾奈
	選手	松田 朱理
	選手	中川 南
	選手	鴛田 莓花
群馬県	選手	河野 さゆり
	選手	根岸 隆樹
	選手	小林 泰夫
	選手	竹内 めぐみ
埼玉県	監督	関根 明治
	選手	横山 志穂美
	選手	建部 優
	選手	古内 奈緒
	選手	小野澤 萌衣
	選手	松本 萌花
	選手	銭場 伸一
	選手	土田 悦子
	選手	島田 徹
	選手	富永 賢治



千葉県	選手	橋本 陽子
	選手	川上 聡子
	選手	矢口 美千代
神奈川県	選手	岡本 由利子
	選手	加藤 優花
	選手	河本 和行
	選手	岸田 波香
	選手	佐々木 みちる
	選手	酒田 優子
	選手	小松田 葵
	選手	常山 秀治朗
	選手	植松 香奈
	選手	植松 雄太
	選手	斉藤 美治
	選手	川田 結生奈
	選手	竹内 真利奈
	選手	中野 ひとみ
	選手	田原 昭彦
	選手	木津 早耶子
	選手	鈴木 幸次
東京都	選手	加藤 真由美
	選手	金子 周平
	選手	溝江 有香
	選手	高橋 才明
	選手	佐藤 由姫
	選手	小井土 咲生
	選手	清水 尚子
	選手	太田 菜月
	選手	大澤 香織
	選手	大澤 洋子
	選手	田村 憲吾
	選手	白鳥 由起
	選手	和氣 芽佳
	選手	塩沢 容子
長野県	選手	山本 勝子
	選手	赤沢 あゆみ
	選手	赤沢 咲子
	選手	竹本 新次
	選手	中村 千織
	選手	北澤 幸子
	選手	柳澤 直美

新潟県	選手	角谷 美空
	選手	小林 憩
	選手	長田 奏
	選手	立川 成美
富山県	監督	米原 江理
	選手	坂本 和代
	選手	大江 莉那
	選手	道谷 龍
静岡県	監督	真野 まり子
	選手	及川 容雅子
	選手	三橋 水樹香
	選手	山下 正紘
	選手	真野 安奈
	選手	杉山 智美
	選手	清 里香
	選手	村松 桜羽
	選手	堀 浩二
	選手	高橋 彩那
	選手	横井 純子
	選手	丸山 裕加
愛知県	選手	吉田 めぐみ
	選手	吉田 綾
	選手	山田 佳世
	選手	杉浦 美香
	選手	西沢 富江
	選手	田上 久仁夫
	選手	藤谷 瑠菜
	監督	奥田 陽子
	選手	金子 早苗
	選手	原田 綺花
岐阜県	選手	山内 貴公美
	選手	内山 はるみ
	監督	及川亜矢子
	選手	古市 泰久
三重県	選手	堀木 好



滋賀県	選手	井上 武弥
	選手	河村 照美
	選手	岩城 好晃
	選手	吉田 麻記
	選手	栗山 爽
	選手	犬山 富恵
	選手	戸田 千晶
	選手	高橋 花歩
	選手	鴻原 ほたる
	選手	鴻原 花菜
	選手	今堀 裕子
	選手	小谷 萌夏
	選手	松本 三智江
	選手	杉本 和樹
	選手	青木 志津香
	選手	増岡 ひろみ
	選手	池田 加代子
	選手	中村 博人
	選手	桃井 清美
	選手	富樫 民江
和歌山県	選手	室川 佐代子
京都府	選手	荻野 陽子
	選手	宮脇 芳照
	選手	谷口 亜里
	選手	池成 ひとみ
	選手	田上 友香理
大阪府	選手	割石 清明
	選手	吉田 美奈子
	選手	桑野 俊夫
	選手	山口 景子
	選手	山中 祐治
	選手	竹内 やす子
	選手	尾木 礼可
兵庫県	選手	奥作 かおり
	選手	日野 小百合
	選手	芳尾 一美
岡山県	選手	河本 尋子
	選手	戸田 帆南
	選手	田村 洋美

広島県	選手	梶川 彰彦
	選手	橋本 隆介
	選手	村上 康子
	選手	池崎 貴子
	選手	中居 すみ江
	選手	鏑鍋 仁美
	選手	木村 千恵美
	選手	和田 由紀恵
香川県	選手	三好 郁代
愛媛県	選手	森田 結捺
	選手	森田 捺珠
福岡県	選手	河野 莉娃
	選手	小川 将輝
	選手	中元 圭剛
	選手	中元 美由紀
	選手	中島 舞陽
熊本県	監督	田崎 一美
	選手	岡村 洋子
	選手	河野 満理
	選手	佐藤 郁子
	選手	小松 由布佳
	選手	植田 由美
	選手	森川 かおり
	選手	田崎 莉子
	選手	田上 陽菜
宮崎県	選手	福田 彩華
	選手	和田 惇希
宮崎県	選手兼監督	上村 裕子
	選手	堀内 美鈴
鹿児島県	選手	永倉 夏穂
沖縄県	選手	村松 芹奈



成績採点方法

エアロダンス種目

【採点基準】

以下2項目を主任含む審判員全員が全体を通して技術と芸術の両方の審査を行う。

20点満点で、採点は0.1点単位

採点スケール	技術 (10 点満点)	芸術 (10 点満点)
優れている	9.6-10.0	9.6-10.0
大変良い	9.0-9.5	9.0-9.5
良い	8.0-8.9	8.0-8.9
普通	7.0-7.9	7.0-7.9
劣る	6.0-6.9	6.0-6.9
不可	5.0-5.9	5.0-5.9

■技 術 演技全体における全ての動きの出来栄を評価する。

エアロビック動作(JJフリーズ含む)

- ・適切な技術（ビートテクニック：弾性・協調性・転換性）を活用して実施されているか
- ・姿勢/アライメント、フォームが美しい
- ・（チーム部門のみ）一致性が高いか

その他の動き（JJフリーズ以外の必修動作、エレメント、移行動作・つなぎなど）

- ・筋力・柔軟性・瞬発力・調整力が示されているか
- ・エレメントが正しい技術を用いて実施されているか
- ・高い完成度で実施されているか
- ・（チーム部門のみ）一致性が高いか

■芸 術 演技全体の構成や、表現力を評価する。

演技構成

- ・選手の個性にマッチした選曲で音楽の構成を活かした演技になっているか
- ・エアロビックステップや移行動作、つなぎでは創造的で多種多様な動きが選択されているか
- ・必修動作に工夫があるか
- ・競技エリア全体をくまなく使用し、全ての方向(前、後、横、上、下、斜め、曲線)にダイナミックに移動しながら、動作をバランスよく配置しているか
- ・（チーム部門のみ）構成人数を活かした工夫されたフォーメーションであるか

表現力

- ・音楽（曲調やリズムなど）と一体化した表現であるか
- ・すべての動きが美しくクリアであるか
- ・全身から表出するエネルギーを伝えているか
- ・観客を魅了し心を掴む作品として印象に残るパフォーマンスであるか
- ・（チーム部門のみ）パートナーシップが活かされているか



フライト種目

【採点基準】

競技時間を通して全身で元気よく、正しい姿勢で生き生きと動いているかを採点する。年齢や性別を踏まえた中で十二分に楽しく伸びやかに動いているかもポイントになります。

■予選ラウンド

- ・オープンエクササイズ 約30分間（前半/後半）
- ・競技内容は、フライトリーダーによる当日ルーティンと2026課題ルーティンBブロック（右左）
- ・審査（採点）は、10点満点を6点から10点のスケールを用い**0.5点単位**で審査します。
- ・審判員全員の合計得点が最終得点となります。

■決勝ラウンド

- ・予選ラウンドから選出された選手（上位50%）を1組（8名程度）**少人数制**で実施します。
- ・競技内容は、予選ラウンドで実施した一連のルーティンを2回おこないます。
- ・審査（採点）は、10点満点を6点から10点のスケールを用い**0.1点単位**で審査します。
- ・審判員全員の合計得点が最終得点となります。
- ・同点時の順位は、①全審判員間の得点差の少ない選手 ②予選ラウンドの順位 ③それでも同じ場合は同位となります。



競技会場・練習会場案内図



8月22日（土）エアロダンス種目





競技会場・練習会場案内図

8月23日（日）フライト種目予選ラウンド



8月23日（日）フライト種目決勝ラウンド





勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



Japanese
Olympic
Committee



UNIVAS

ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち
スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りようかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

「スポハラ」をなくすためには
「いかなる理由でも、指導者・
コーチによる不適切な行為は
あってはならない」

とスポーツに携わるすべての人が思うことが重要です。

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚
書>>>



JSPPO
Japan Sport Promotion Organization

グッドコーチを目指して

グッドコーチなら？ / バッドコーチなら？

ケーススタディから考える

保護者の役割

- 技術のコーチングよりも「安全・安心なスポーツ環境の守り手」として子どもに寄り添う
- 保護者は最も重要な「他者」

暴力は違法行為

プレイヤーのミスに対するコーチング

ケーススタディ①

暴力と同様の違法行為

ケーススタディ③

フェアプレー

ケーススタディ②

保護者との関係構築

スポハラの種類

- 他人に対する配慮を欠いた言動
- 他人の尊厳を傷つける言動

なども、スポハラに繋がりますので、「他人に配慮・他人を尊重」して、スポーツをするように心がけましょう。

スポーツに関わるみんなが

他人への思いやり・尊重

ここを持つことが大切

ケーススタディ③

フェアプレー

誰が「加害者」、「被害者」となるのか？

- 指導者から選手に対するものだけでなく先輩・後輩・友人なども加害者になり得る
- 女性も加害者に、男性も被害者になり得る
- 異性に対するものだけでなく、同性に対してもなり得る

プレー以外の行動等に対する対応

ケーススタディ④

パワハラとは？

自分の立場を利用し嫌がらせを行うこと
肉体的 精神的苦痛を与える
スポーツを行う環境を悪化させる

スポハラを防ぐために…

動機：プレッシャー（不正行為をする心算）
機会（不正行為ができる環境）
正当化（不正行為を風説する心算）

何のたれにスポーツ指導を行うのかを考える
→勝つことよりもプレイヤーの成長と幸せのため
不正行為が起きにくい環境をつくる
→密着しないようにする（オープンな指導環境）
→他者の意見を聞き、風説を良くする
「これくらいはいいだろう」という考えを改める
→高い倫理観、高潔性（インテグリティ）をもつ

スポーツ現場や組織で取り組むべきこと

- ◆ガイドラインの作成
- ◆「ハラスメントを許さない」という意思を明確にする

スポハラに頼らないスポーツ環境を作るためには…

- コーチだけでなく、保護者も知識のアップデートが必要！
- 誰もがスポハラの加害者になってしまう可能性があることから、スポハラが発生しない状況を理解し、予防に努める！

セクシュアル・ハラスメント

ケーススタディ⑤

子どもを『スポハラ』から守る!
保護者向けオンラインセミナー

特別対談
谷本 歩実 塚田 真希 中村 美里

「NO! スポハラ」サミット2024

サッカー日本代表監督
森保 一

アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組めます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター

MIZUNO SPORTS PROMOTION FOUNDATION

1970 ▶▶▶▶▶ 56TH ▶▶▶▶▶ 2026



スポーツを愛する人たちへ

私たち、ミズノスポーツ振興財団は、
スポーツの普及、振興に必要な事業を行い、
スポーツを愛する人たちを応援しています。



公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

競技会場地マップ

Venue map

県内全40市町村と県外3市町において、国スポ・障スポ合わせて104競技を開催！

国スポ

正式競技(37)

特別競技(1)

公開競技(7)

デモンストレーション
スポーツ(39)

冬季正式競技(3)

障スポ

正式競技(14)

オープン競技(3)

(身)身体障がい者が出場できる競技 (知)知的障がい者が出場できる競技
(精)精神障がい者が出場できる競技

東青地域

青森市

- 国スポ総合開・閉会式
- 障スポ開・閉会式
- 陸上競技
- 水泳(競泳)
- 水泳(水球)
- 水泳(アーティスティックスイミング)
- 水泳(オープンウォータースイミング)
- テニス
- バレーボール(6人制)
- バレーボール(ビーチバレーボール)
- ハンドボール
- ソフトテニス
- 卓球
- 軟式野球
- ライフル射撃(25m)
- ラグビーフットボール(15人制)
- スポーツクライミング(リード・ボルダー)
- アーチェリー
- ゴルフ
- トライアスロン

平内町

- ゴルフ
- 綱引

蓬田村

- モルック

今別町

- 年齢別
バドミントン

外ヶ浜町

- ベタンク

- ウォークビンゴ
- カーリング
- ソフトバレーボール
- ターゲット・バードゴルフ
- ドッジボール
- 年齢別ソフトテニス
- 年齢別テニス
- ふれあいボウリング
- ユニバーサルホッケー
- ラージボール卓球
- ダンススポーツ
- 陸上競技(身・知)
- 水泳(身・知)
- アーチェリー(身)
- 卓球(身・知・精)

サウンドテーブルテニス(身)を含む。

下北地域

むつ市

- ローイング
- バスケットボール
- セーリング
- フェンシング
- フライングディスク
- バスケットボール(知)

大間町

- ウォーキング
- ノルディック
ウォーキング

風間浦村

- ノルディック
ウォーキング

東通村

- ソフトバレーボール

佐井村

- ふれあいソフトボール

上北地域

十和田市

- サッカー
- バスケットボール
- 相撲
- ゲートボール
- バウンドテニス
- パークゴルフ
- Let's Enjoy バウンドテニス
- バレーボール(身)

三沢市

- ホッケー
- バスケットボール
- 軟式野球
- ソフトボール
- 銃剣道
- 武術太極拳
- いきいき太極拳
- スケート(ショートトラック)
- アイスホッケー
- ボウリング(知)
- 車いすバスケットボール(身)
- デフボウリング(身)

野辺地町

- ハンドボール

七戸町

- 剣道
- ブラインド
テニス(身)

六戸町

- 軟式野球

東北町

- ソフトボール
- 女子ソフトボール
- ソフトボール(知)

六ヶ所村

- ホッケー
- 軟式野球

おいらせ町

- 軟式野球
- スポーツチャンバラ
- ファイン・ボール
- ブラインドベースボール(身)
- ファイン・ボール(身)

西北地域

五所川原市

- バレーボール(6人制)
- バレーボール(精)

つがる市

- バレーボール(6人制)
- 柔道
- バレーボール(知)

鰺ヶ沢町

- マスターズ
スイミング

深浦町

- ノルディック
ウォーキング

板柳町

- ふれあいゲートボール
- ウォーキング

鶴田町

- マラソン&
ウォーキング

中泊町

- ビーチ
サッカー

中南地域

弘前市

- 体操(競技)
- 体操(新体操)
- 体操(トランポリン)
- ソフトボール
- 弓道(近的・遠的)
- ライフル射撃(50m、10m、BR・BP)
- 空手道

黒石市

- バドミントン

西目屋村

- カヌー
(スプリント)
- カヌー
(スラローム・ワイルドウォーター)

大鰐町

- パラグライディング
- オリエンテーリング
- スキー(ジャイアントスラローム)
- スキー(クロスカントリー)

- クレー射撃(トラップ・スキート)
- 高等学校野球(硬式・軟式)
- マスターズ陸上競技
- ビリヤード
- フライングディスク(身・知)
- ボッチャ(身)

平川市

- ウェイトリフティング
- グラウンド・ゴルフ
- エアロビク
- インディアカ

藤崎町

- なぎなた
- パワーリフティング
- スポーツウエルネス吹矢

田舎館村

- ユニカール

三八地域

八戸市

- サッカー
- バスケットボール
- レスリング
- 自転車(トラックレース)
- ソフトボール
- ラグビーフットボール(7人制)
- ボウリング
- 空道
- スケート(スピード)
- スケート(フィギュア)
- アイスホッケー
- サッカー(知)
- フットソフトボール(知)

三戸町

- パークゴルフ

田子町

- マラソン

階上町

- 自転車
(ロードレース)
- フロアボール

五戸町

- サッカー

南部町

- サッカー

新郷村

- エンジョイ!
グラウンド・
ゴルフ

県外

宮城県利府町

- 水泳(飛込)

山梨県北杜市

- 馬術

秋田県鹿角市

- スキー(スペシャルジャンプ)
- スキー(コンパインド)

青の煌めき^{きら}あおもり国スポ・障スポ

2026

翔ける未来へ縄文の風に乗って

第80回国民スポーツ大会 第25回全国障害者スポーツ大会



(公社)日本エアロビック連盟
マスコットキャラクター「えありーな」



青の煌めき^{きら}あおもり国スポ・障スポ
公式マスコット「アップリート君」

競技結果・速報URL

<https://aomorikokuspo2026.pref.aomori.lg.jp/kyougi/koukai/aerobic/>



青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
平川市実行委員会